

## 第3回地域医療シンポジウム報告

### 「地域医療の現状と展望」

日時：平成21年7月11日(土)

PM3:00～PM5:00

会場：矢板市文化会館小ホール



今回のシンポジウムは、今年4月から国際医療福祉病院に経営移譲された塩谷総合病院の現状を中心に塩谷地区の救急医療の現状を把握し、今後の展望を考えようということがテーマとなった。

#### パネリストと講演テーマ

国際医療福祉大学塩谷病院 病院長 江口 光興先生

「塩谷病院の現状と今後」

黒須病院院長代行

手塚 幹雄先生

「二次救急病院の現状と相互連携体制」

塩谷広域行政組合消防本部 榎 孝次氏

「塩谷地区の救急搬送の現状」

矢板市医師団長

山田 聰先生

「この地区の医療の再構築のために必要なこと」

塩谷郡市医師会理事

後藤 哲郎先生

「矢板地区の現状」



それぞれの発表の後、各現場で抱える問題点について活発な意見交換が行われた。

また、多くの市民が関心のある話でもあり、会場からも質問があった。上都賀郡市医師会副会長の奥山先生が上都賀郡市の現状報告をしてくださった。

新しい病院を地域でどう支えていくか、救急医療体制をどう構築していくかなど、今後の展

望と実現に向け各論的な話し合いができた。

「救急医療の現状と展望」アンケート集計

お住まい						
矢板市	塩谷町	さくら市	高根沢町	その他	未記入	総計
115	12	21	1	21	9	179

年代					
20歳未満	20～39	40～59	60以上	未記入	総計
1	31	69	66	12	179

性別			
男	女	未記入	総計
82	74	23	179

何でお知りになりましたか				
医療機関	市・町の広報	ポスター	新聞	回覧板
69	73	19	20	20
インターネット	その他	総計		
1	17	219		

パネリストの報告について				
わかりやすかった	むずかしかった	その他	未記入	総計
167	4	5	3	179

シンポジウム・討論について				
わかりやすかった	むずかしかった	その他	未記入	総計
143	11	7	18	179

今後の参加について			
参加したい	参加したくない	未記入	総計
164	2	13	179

## コメント抜粋

矢板市 60歳以上 男性	このシンポジウムで話をされた内容を誰がリーダーを取って行うのか？ 実施に向けて努力をして欲しい。
矢板市 40～59歳 男性	医学的な専門用語を使わなかったパネリストの説明が良かった。
矢板市 60歳以上 男性	救急医療の現状は今回で認識が深められたと思う。今後の課題は「連携」である。 市民の理解を得るためには行政に頼るばかりでなく、病院も市民講座を開くなど、積極的な行動を望む。
矢板市 60歳以上 女性	これからも私たちが参加できる今日のような会を続けて欲しい。
未記入 60歳以上 男性	パネリストの話の中で行政の対応の問題が指摘されたが、行政が積極的に関わる必要があるように思う 住民の立場からの意見・要望もあるので、今後は行政、住民がパネリストに加わってはどうか？
塩谷町 20～39歳 男性	パネリスト同士が議論しないと意味がないと思う。それぞれの立場から主張し合う討論がみたい。
矢板市 40～59歳 女性	若い世代の参加が少ないような気がした。ポスター等に若い世代の参加を呼びかける内容があってもよかったのでは？ 受診のあり方などを知る機会になるのではないかと思う。
矢板市 20歳未満 女性	医療の現状の深刻さは思った以上 何か良い手はないのでしょうか？ 報告的なシンポジウムではなく、もっと方向性を示して欲しい。 患者の意識改革が必要なことがわかった。こういう機会に指導して的確な受診が出来るようになると良いのでは。
矢板市 20～39歳 男性 (今回初参加)	パワーポイントの説明は分かり易かったが、投影する資料を紙ベースとして配布して頂ければ、より理解できたと思う。 医学部の定員が他学部と比べて大幅に少ない理由。医師が都市部に集中してしまう具体的な理由。その解決に向けた行政と住民が果たす役割を、話して頂きたい。
その他 60歳以上 女性	グラフや色分け等により、話を聞き、目で確認できたことが高齢者としては非常に分かり易かった。